

五十鈴の風

平成23年4月発行
発行：市立伊勢総合病院

安心していただける医療を

- 新任医師の紹介・・・・・・ よろしくお願ひします
- 院内トピックス①・・・・・・ 内科・神経内科の紹介外来制を実施します
- 院内トピックス②・・・・・・ 被災地へ医療救護に行ってきました
- 健康メモ・・・・・・ 変形性膝関節症とは
- 看護部シリーズ・・・・・・ 透析生活について
- 院内部署シリーズ・・・・・・ 総務課管理係(エネルギー担当)
- 院内各科紹介・・・・・・ 外科
- 栄養管理課だより・・・・・・ 鶏肉の黒酢煮



「空から花見」 金丸 訓明様 撮影

事務局だより

皆様から「五十鈴の風」の表紙を飾る写真を募集しています。広報図書委員会事務局(総務課 中村)までお願いします。

市立伊勢総合病院 の 基本理念

患者様の立場より	愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療
病院機能の立場より	良質かつ高度の医療
地域医療の立場より	円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療

新任医師の紹介

- ①：出身地 ②：出身大学 ③：前任地
④：特技/趣味 ⑤：モットー ⑥：尊敬する人
⑦：好きな言葉 ⑧：マイブーム ⑨：愛読書



ゆきしげ
中世古 幸成 (眼科)

- ①：伊勢市 ②：聖マリアンナ医科大学 ③：三重大学医学部附属病院
⑦：人間万事塞翁が馬
一言：親切な説明を心掛けます。



なおしげ
中世古 直成 (眼科)

- ①：伊勢市 ②：藤田保健衛生大学 ③：三重大学医学部附属病院
④：映画鑑賞
一言：患者様に喜んでもらえる様、頑張ります。



井口 正士 (内科)

- ①：兵庫県 ②：三重大学 ③：済生会松阪総合病院 ④：仁鶴のものまね
⑥：デューク東郷
一言：ふつつか者ですが、よろしくお願い申し上げます。



飯島 由貴 (形成外科)

- ①：愛知県 ②：藤田保健衛生大学 ③：土岐市立総合病院
④：ドライブ (地図を見ながら時々迷子になっています。) お菓子作り、寝ること



加藤 奈津子 (神経内科)

- ①：伊勢市 ②：三重大学 ③：三重大学医学部附属病院 ④：音楽鑑賞 ⑦：ものは考えよう
一言：2年間の初期研修を終え、このたび、神経内科に勤務させていただくことになりました。地元である伊勢で新たな一歩を踏み出せることをとても嬉しく思っています。人との出会いを大切にしながら、毎日を通じていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



飯田 竜 (整形外科)

- ①：一志郡一志町 (現在津市) ②：三重大学 ③：済生会松阪総合病院
④：特技/忘年会の出し物を考えること。趣味/長女・次女と遊ぶこと ⑧：生後7ヶ月の三女と戯れること
一言：研修医時代に山田赤十字病院で勤め、伊勢で暮らすのは2回目となります。振り返れば、世間でいう“アラフォー”を迎えていました。あの頃の“勢い”と“体力”の衰えを実感しますが、他病院で培った“経験”と“気力”でカバーしようと思います。日々、精進し、伊勢の医療に少しでも貢献できるよう頑張ります。どうかよろしくお願い致します。



よろしく
お願いします



院内トピックス

内科・神経内科の紹介外来制を実施します



6月1日から内科の「紹介外来制」を実施します。(神経内科についてはすでに実施中)

内科または神経内科を初診もしくは予約券なしで受診される方は、まずかかりつけ医(開業医)などを受診していただき、専門的な検査・入院治療が必要な場合は、かかりつけ医からの紹介により、市立伊勢総合病院を受診していただくことになります。

内科、神経内科以外の診療科については、これまでどおり紹介状のない患者さんも受診していただけます。

皆様のご理解・ご協力をお願いします。



被災地へ医療救護に行ってきました



平成23年3月27日から4月2日まで、三重県を通じて岩手県からの要請を受け、当院は医師2名をはじめとする総勢8名の医療救護班を編成し、陸前高田市で被災された方々の救護に従事して参りました。

現地では、被災して機能を失った岩手県立高田病院が、米崎コミュニティセンターに仮診療所を開設していました。当院が参加しました三重県チームは、この診療所にて他県からの派遣の医師、地元の開業医と共に、

外来診療をして参りました。受診者の大半が内科疾患で、しかも高血圧の方が異常に多かったです。

余震は頻繁にあり、停電もありました。午後は近くの7箇所の避難所へも巡回診療に行きました。家族を全員なくした方、家も職場も全て失った方など話していると涙が出てきました。

しかし、一方で復興に向けて地区をあげて立ちあがっている人たちもいました。市立伊勢総合病院8名の医療チームの活動がこの両方の人たちのお役に立てたと信じています。

医療救護班長 原 隆久



健康メモ

変形性膝関節症とは

変形性膝関節症は、加齢や過度の関節運動、あるいは体重の増加や外傷などにより、関節に負担がかかり、そのため膝の関節の軟骨がいたみ、骨も変形してくる病気です。

自覚症状としては、膝関節の痛みや関節の動きが悪くなることがあげられます。なかには関節に水が溜まって腫れてくる場合もあります。

診断は、主に症状とエックス線検査によって行いますが、関節リウマチなど他の病気と区別するために血液検査などを行うこともあります。

変形性膝関節症の治療法は、大きく分けて保存療法と手術療法があります。

保存療法としては、生活指導、理学療法、薬物療法があります。生活指導として体重を減らすことや日常生活で膝に負担をかけないようにする（正座をしない、杖を使うなど）ことに気をつけていただきます。理学療法としては膝の周りの筋力をつける訓練を中心に行います。太ももの筋肉をつけることによって膝が安定して症状が楽になります。薬物療法としては湿布などの外用剤やヒアルロン酸などの関節注射があります。

手術療法はこのような治療で症状が楽にならない場合に行います。変形の程度によって治療法は異なりますがO脚を矯正する手術や人工関節に置き換える手術があり、安定した成績が得られています。

変形性膝関節症の方は日本で2400万人以上いるといわれています。長期間膝の痛みがある方はぜひ一度整形外科を受診してみてください。



整形外科 副医長 小畑 秀司

透析患者さんは腎不全（腎臓が働かない状態）という病気です。おしっこは産生されないかもしくは極少量の為、水分や余分な電解質・老廃物が排泄されません。また、腎臓で作られるホルモンが不足するのでそれに伴うカルシウムやリンの代謝異常や貧血がおこります。治療法には、血液透析・腹膜透析・腎移植があり、現在当院では50人の腎不全患者さんが通院しています。血液透析は腕に造ったシャント【静脈と動脈をつないで血流を多くした血管】という部位に二本の普通の静脈針の倍以上の太い針を刺し、自分の血液をダイアライザーという器械を通して血液中の老廃物を除去しきれいになった血液を体に戻します。



月・水・金に透析を受けている、ある患者さんの日常生活

月・水・金曜日：朝の散歩と朝食を済ませて、減塩、カリウム処理をしたお弁当と少量のお茶を持ち、病院へ自分で車を運転して出かけます。体重の増加が多いとスタッフから「週末は何かいいことあったのですか？」「お出かけした？」とか聞かれます。血液透析の結果を見て食事摂取や日常生活についてスタッフと相談します。お昼になれば、愛妻弁当を治療中に食べて、病院から戻ります。家のことや近隣とのお付き合いなど普通の人と同じように過ごしますが、時には疲れてしばらく横になることもあります。透析日は入浴していません。

火・木曜日：いつもの日課のとおり散歩に出かけますが、時間に追われることはありません。畑仕事にも出かけます。食事と水分摂取には気を使います。ゆっくり入浴して明日に備えます。

土・日曜日：透析に行かなくてもよい日はルンルンです。趣味のカメラを抱えて出かけたり、友人とドライブに出かけたりします。2日間が空くので水分管理は気が抜けません。体重計に乗り、増加量をチェックします。でもご馳走を前に自制心を失った後は透析スタッフの顔が浮かんで来ることもあります。週3回の通院は大変ですが、元気に過ごすには食生活の節制と透析治療は欠かせません。明るく健常者に近い生活を送りたいと努力しています。

患者さん達を理解して透析ライフがよりよいものになるよう透析室スタッフは今日も頑張っています。

透析室 看護師長 田畑 千津子



私たち総務課管理係施設担当のスタッフは、職員3名、外部委託者3名の計6名で院内の設備関係業務を担っています。

仕事の内訳は、電気設備、機械設備、空調設備、衛生設備、医療ガス設備、消防設備等の維持管理及び施設の営繕業務です。日常は、維持管理上必要な各設備の点検や営繕等を中心に、異常・故障等があった場合には、すみやかな対応処置ができるよう常に努めています。ライフラインを含め患者様が院内で快適に過ごしていただけるよう常に心がけております。

冷房に関しては、5月上旬より9月下旬まで、暖房は11月上旬より4月下旬までの計画で運転しています。

最後に節電、節水にご協力のほどよろしくお願いします。



当科では、消化器の悪性疾患（食道癌、胃癌、大腸癌、胆道癌、肝臓癌、膵臓癌など）や乳癌、肺癌を中心に、胆石症や鼠径ヘルニア、虫垂炎、痔などの良性疾患の手術治療を行っています。手術治療では一人の患者さんに対して、主治医に加え複数の医師がチームを組んで治療にあたります。

癌などの悪性腫瘍では、治療ガイドラインに沿った標準的で、安全な医療を提供するとともに、QOL（quality of life）向上を重視した機能温存手術（乳房温存手術、直腸癌での肛門括約筋温存手術など）を行っています。また、手術の前後に抗癌剤治療や放射線治療を組み合わせることで、集学的治療を行うとともに、より機能温存を目指した治療を心がけています。

最近では体に優しい鏡視下手術に力を入れており、胆石症、虫垂炎、気胸などの良性疾患に加え、胃癌（早期癌）、大腸癌（早期癌から進行癌まで）、肺癌など、悪性疾患に対しても積極的に鏡視下手術を行っています。鏡視下手術の割合は増加傾向で、患者さんの満足度は非常に高いものとなっています。

忙しい毎日ではありますが、“仕事はきちんと、職場は明るく”を信条に、常に患者さんに寄り添う姿勢を持ち、患者さんにとって何が大切かを一緒に考え、一人一人の状況にあわせた“過不足のない外科治療”を目指し頑張っております。

特に外科医は日々、心身の健康に留意し、力を発揮できるよう心がけなければなりません。よい仕事がいよいよチームで行われるための環境づくりも合わせて進めていきたいと考えています。

スタッフ 伊藤史人(科長)・野田直哉(医長)・出崎良輔(医員)・武内泰司郎(医員)・佐野孝治(医員)

栄養管理課だより



栄養士おすすめメニュー

鶏肉の黒酢煮

今回は、当院で人気の高い料理のひとつ『鶏肉の黒酢煮』を紹介します。黒酢を使用するため、さわやかな酸味・旨み・コクがアクセントになっています。黒酢の代わりに酢を使用すると、少し酸味が強くなりますが、さっぱりとした風味になります。

材料(4人分)

- 若鶏もも肉（皮付き大1枚）…… 320g
- 白ねぎ（東京ねぎ）…… 1本
- 油 …… 小さじ0.5
- しょうが …… 1片
- キャベツ …… 適宜
- ブロッコリー …… 適宜
- プチトマト …… 適宜
- ドレッシング …… 適宜

- A
- 黒酢 …… 大さじ3.5
 - 砂糖 …… 大さじ2
 - みりん …… 小さじ1弱
 - しょうゆ …… 大さじ1.5

作り方(レシピ)

- ① 白ねぎは2センチ幅に切る。 ② 鶏肉は一口大の大きさに切る。
- ③ フライパンに油をひき、①のねぎと②の鶏肉を焼く。
- ④ 鍋にAの調味料、③の鶏肉、スライスしたしょうがを入れ、鶏肉が浸る程度に水を加えて煮る。
- ⑤ 煮汁が少なくなったら、③のねぎを加え、ひと煮立ちしたらできあがり。
- ⑥ お皿に鶏肉・ねぎを盛り、ゆがいたキャベツ・ブロッコリー、プチトマトを添える。

